

ワクナガ、メイプル、男女共に健闘！！



第 68 回国民体育大会に男子の広島県代表として出場した湧永レオリックは、一回戦から準々決勝まで順調に勝ち進んでいったが、準決勝で埼玉県代表に 26-27 で破れた。しかし 3 位決定戦で宮城県に 28-24 で勝利し、見事 3 位入賞を果たした。日本リーグなど今後の活躍に期待したいものである。

また、10 月 13 日には、広島広域公園を中心に市内 13 会場で行われた第 19 回広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルに伊藤選手、小川選手、桑野選手が参加した。玉入れや軽スポーツであるインディアカなどを通して、市民とふれあうことで参加者も選手も改めてスポーツの楽しさを満喫していた。

広島メイプルレッズは 10 月 3 日～6 日まで新宿スポーツセンターで行われた第 68 回国民体育大会に女子の広島県代表として出場。3 位決定戦で鹿児島県代表に 17-19 で惜敗し結果は 4 位に終わったが、男子代表とともに健闘した。また、第 38 回日本ハンドボールリーグでは 9 月 21 日に行われた、対三重バイオレットアイリス戦に 30-25 で勝利、続いて 22 日に行われた対 HC 名古屋戦にも 30-14 で勝利した。しかし、28 日の対オムロン戦では 23-24 で今リーグ初の敗北を喫し、続く対北國銀行戦でも 22-33 で敗北、しかし翌日の対三重バイオレットアイリス 2 戦目は 28-20 で勝利し連敗をストップ、10/19 日に東区スポーツセンターである対北國銀行戦に備えている。今後の巻き返しに期待したい。10 月 20 日には江田島市で第 28 回ヒロシマ MIKAN マラソン大会が行われた。ゲストランナーとして増田寛那選手と高橋佑奈選手が出場した。



新たなチームで広がる輪！

9 月 27 日からはじまった東京国体バレーボール競技も準優勝という結果で終わり、本番である「2013/14V・プレミアリーグ」に向けて新たな決意を胸にする選手と共に、10 月 7 日～11 日までの韓国遠征も終えてさらにパワーアップしていく JT サンダーズ。10 月 13 日、14 日と島根県松江市でバレーボール教室と、堺ブレイザーズとの招待試合を行いました。バレーボール教室では終始和やかな雰囲気です選手たちも一緒に楽しんでた様子がみられた。

そして堺ブレイザーズとの試合は 3-2 で JT サンダーズが見事勝利！

この試合は新たに加わった越川選手の初試合であった。しかしそんな不安など全くみられず、すっかりチームに溶け込んでたくさんの活躍をみせ JT サンダーズを勝利へと導いてくれた。それでも、この試合で選手たちはまだまだ現状に満足せず、もっとこのチームを良くしていきたいと、これからの JT サンダーズにさらなる期待が高まる決意を語る。

12 月から始まるプレミアリーグも日程がどんどん決まりつつあり、選手たちも気合充分。今後の活躍にもぜひ注目したい。

各チームの 1 推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



サンフレッチェ広島 野津田 岳人

生年月日 1994/6/6
身長 175cm
血液型 A 型
出身地 広島県

担当者からのコメント

広島生まれ広島育ちの期待の星。ピンと伸びたフォームが美しい左足のキックにご注目ください！

スポーツセンターも応援しています！

トップスニュースを掲示する施設の中の一つ、牛田にある東区スポーツセンターでは、トップス応援コーナーの中ではここだけ、という各チームのユニフォームの展示も行っている。また、地域の方に広島のチームの事をより知ってもらうため、トップスニュースを印刷し、気軽に持ち帰ることが出来るような工夫もされているようだ。これからもトップスニュースを通じて地域の方々と共に広島のスポート界を支えていてもらいたい。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



トップスニュース

Vol.55

2013年10月25日

加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダーズ



ワクナガレオリック



広島メイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本広島
ソフトテニスクラブ

中国電力
陸上競技部

中国電力陸上競技部



コカ・コーラウエスト
レッドスパークス



広島東洋カープ

トップス広島 事務局

〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

TEL:082-233-3233

FAX:082-233-3251

URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



祝！！初CS進出！！

広島が16年ぶりのAクラスと初のクライマックスシリーズ進出を決めた。初のCS進出ということでカープファンは大盛り上がりである。CS進出決定を受け、広島の福屋やそごうなどの百貨店では記念セールが行われるなど、広島全体がお祝いムード一色だ。また、広島では、12日からのCS（対阪神・甲子園）のパブリックビューイングをマツダで開催。初進出したCSの戦いぶりをバックスクリーンのビジョンで生中継した。約9千人のファンが集まり、大きな盛り上がりを見せた。

そしてなんと、初めてCSに出場したリーグ3位の広島が、同2位の阪神に連勝し、ファイナルS進出を決めた。16日に開幕するCSファイナルシリーズで、セ・リーグ優勝の巨人と対戦することとなった。今、最も勢いに乗っているカープ陣！！CSファイナルシリーズでの活躍も楽しみである。



市民と交流！第19回スポーツ・レクリエーションフェスティバル！

10月13日(日)広島広域公園で第19回目となる広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルが行われた。このイベントは、誰でも参加できる市民レベル最大のスポーツイベントとして開催されているもので、トップス広島の選手達とのふれあいの場やレクリエーション運動会、スポーツ交流会、ニュースポーツ(インディアカ、スナッグゴルフ、カバディ、キンボールなど全21種)などのコーナーが設けられた。ニュースポーツ体験の場ではあまり普段馴染みのないスポーツの体験を行っていたが、参加した人々は新たなスポーツとの出会いに楽しんでいった。選手もインディアカというスポーツに参加し、いつもと違い慣れないスポーツに戸惑ってはいたが、徐々にラリーも続くようになり、笑顔があふれて楽しんでいった。今回の交流を通して、コカ・コーラウエストレッドスパークスの湯田選手は「普段の試合と違い直接ふれ合えることはうれしい。試合にもぜひ来てもらいたい。」、ワクナガレオリックの小川選手は「小さい子たちとふれ合えてスポーツを楽しんでいる姿を見て良いことだと思う。広島のスポーツ活動の発展にこのような機会を増やしていければと思う。」と今回の活動を通じて地域の方との交流を深められたことを喜んでいるようだった。



第68回国民体育大会

コカ・コーラ WRS 優勝
(雨天中止の為両チーム優勝)
決勝戦 雨天中止 岐阜
JTサンダーズ 準優勝
決勝戦 ● 2-3 ○ 愛知

ワクナガ 3位
準決勝 ● 26-27 ○ 埼玉
3位決定戦 ○ 28-24 ● 宮城
メイプル 4位
3位決定戦 ● 17-19 ○ 鹿児島
広島ガス 5位
準決勝 ● 1-2 ○ 岐阜

NTT西日本広島
《男子》**5位**
準々決勝 ● 1-2 ○ 愛媛
5・6位決定戦 ○ 2-0 ● 山口
《女子》
1回戦 ● 1-2 ○ 富山



第 68 回国民体育大会初優勝！！

10月3日から5日に東京日野市にて第68回国民体育大会が開催されレッドスパークスは広島県成年女子代表として出場した。1回戦は大分県と対戦、試合開始から積極的にリズムと感覚をつかみながら攻撃していく。前半2点を決めリードしたまま折り返し、後半にはいると相手が果敢に攻め込んできたところディフェンス陣が反撃し、ゴールラッシュで5点を追加した。残り1分で失点するも7対1で勝利した。翌日の準決勝は岩手県と対戦。レッドスパークスはなかなかチャンスをものにすることができず、点に結びつかなかった。しかし、前半29分にPCを取得しキーパーにシュートは弾かれたが、混戦のなかから金藤選手が先制点を決めた。後半に入ると14分に追加点をあげ2点目とし、レッドスパークスの攻撃が終始続き、このまま試合終了かと思われたが、カウンターからPCを取られてしまい相手のセットプレーは崩したものの点を決められてしまい、失点。



そこで試合が終了、2対1で勝利し試合を終えた。翌日5日決勝戦岐阜県との対戦が予定されていたが、悪天候のために試合が中止となり、両チーム優勝となり広島県成人女子として初優勝した。

今シーズン残す試合は全日本女子ホッケー選手権大会のみとなった。レッドスパークスは、監督をはじめ日本代表選手が数多く在籍し活躍している。今月12日の東アジア大会の決勝戦では得点にも絡み優勝を果たしている。今季の集大成として力を存分に発揮してほしい。



バドミントン成年女子 第5位！！

第68回国民体育大会が9月28日から始まり、バドミントン競技は、10月4日～10月7日に東京都・町田市立総合体育館で開催された。成年女子の部では、32都道府県が出場し、広島ガスの単独チームで構成され、小池・井上（静）・桜井の3選手が広島県代表として出場した。4日に行われた初戦は愛媛を2-0で制し、5日の2回戦でも京都に2-0で勝利した。しかし6日に行われた準々決勝戦では、前大会優勝県の岐阜との対戦で1-2で惜しくも敗退し、昨年のぎふ清流国体に続き岐阜に勝ち星を上げることが出来なかった。ダブルスに出場した小池・桜井ペアは、脇田・江藤ペアにストレートで敗退。続くシングルスに出場した井上選手は、ファイナルゲームにもつれる一進一退の攻防を制し、流れを引き寄せた。しかし、勝負の第2シングルスに出場した桜井選手だが、ファイナルゲームの接戦の末、惜しくも敗退した。大会結果は、第5位で広島県としては久々の入賞で随所に良いプレーなどもあり、収穫のある国体となった。広島ガスの選手達はこれからがシーズン本番であり、年末まで大会が目白押しだ。また、10月27日（日）に中区スポーツセンターで行われる、日本リーグ2013広島大会での彼女らの活躍に期待したい。



表彰式後：(左) 桜井 (中央) 小池 (右) 井上(静)

7/26～8/25 トップス広島 試合結果

広島東洋カープ

10/2 カープ○ 7-2 ●阪神

10/3 カープ● 3-5 ○中日

10/5 カープ 雨天中止 ヤクルト

10/6 カープ● 4-5 ○ヤクルト

サンフレッチェ広島

▽Jリーグ2013

10/5 サンフレッチェ広島○ 3-1 ●清水エスパルス

▽天皇杯全日本サッカー選手権大会

10/14 サンフレッチェ広島○ 2-1 ●ロアッソ熊本

▽クライマックスシリーズファーストステージ

10/12 カープ○ 8-1 ●阪神

10/13 カープ○ 7-4 ●阪神

《※広島で行われた試合のみを掲載しています。》



サンフレ首位に振り返り咲き！！

10月5日(土)対清水戦。この日、選手が使用するスタジアムシートが大きく様変わりし、観戦に訪れた方もスタジアムシートの座り心地を体験することができた。このスタジアムシートはサンフレッチェ広島オリジナルで、以前とうって変り、サンフレのチームカラーである紫を基調とし、どんな体勢でも心地よく座れ、特殊なメッシュ素材で汗やこの日のような雨に濡れた選手でも快適に座れるように工夫されている。スタンドからも目を引く鮮やかな紫で、ホームを実感させる温かみのあるシートである。

10月5日(土)にエディオンスタジアム広島で行われた清水エスパルス戦。後半26分、PKで相手に1点リードをゆるしたものの、その直後、塩谷司選手の強烈なミドルシュートが決まり、エディオンスタジアムは大歓声の渦に包まれた。続いて、サンフレユース出身の野津田岳人選手が連続ゴールを決め、3-1で逆転勝利。野津田選手は試合直後のインタビューで「前回の清水戦で、シュートを決められず悔しい思いをしたが、今回の清水戦で悔しい気持ちを返すことができてよかった。」と満面の笑みで語った。新たなヒーローが誕生したサンフレッチェ、今回の勝利により、得失点差で首位の横浜F・マリノスを上回り、首位に振り返り咲いた。残りの試合も、着実に勝ち進んで優勝してもらいたい。



新調されたスタジアムシート

中国電力
陸上競技部

「エネルギーランナーズスクール in 東広島」を開催！

中国電力陸上競技部は10月19日、広島県立西条農業高等学校の西農陸上競技場（東広島市西条町）で「エネルギーランナーズスクール in 東広島」を開催し、油谷繁コーチほか4名の選手が講師を務め、小学生・高校生約70名が参加した。この日の練習は、小学生コース・高校生コースの2グループに分かれて実施。



高校生と一緒に最後のクールダウンを和やかに行う清谷選手(左)と中原選手(右)

小学生コースでは、中距離種目を専門とする田子康宏選手の指導の下、ボールを使ったウォーミングアップやスキップ・ダッシュなどを取り入れた動きづくり等を実施した。高校生コースでは、清谷匠・中原大両選手の指導により、「一定の距離を決められた時間で走る」という長距離走に必要な「体内時計（ペース感覚）」を養うプログラムを行い、その難しさを感じてもらった。参加者からは「今日教えてもらったことを今後に生かしたい」「油谷コーチみたいになって、東京オリンピックに出る！」などの頼もしい声も聞かれた。スクール終了後は、参加者とともに記念撮影やサイン会を行い、和やかな雰囲気の下、参加者と選手たちの交流を終えた。



広島県勢、総合3位！！

10月6日・7日に、第68回国民体育大会が東京都世田谷区立総合運動場庭球場、世田谷区立大蔵第二運動場庭球場で開催された。成年女子の部では、広島から佐々木・大庭ペア、中野・石井ペア、水間・小林ペアが出場した。1回戦目に富山県と戦い、1-2で、まさかの初戦敗退であった。成年男子の部では、広島から村上・原ペア、堀・中本ペア、水澤・長江ペアが出場した。初戦長野県と対戦し、3-0で勝利した。準々決勝では今回2位だった愛媛県と対戦し、1-2で惜しくも敗退した。7日に行われた順位決定戦では、神奈川県と戦い2-0で勝利した。5・6位決定戦で、山口県と対戦し2-0で勝利し、5位であった。広島県は総合3位だった。国民体育大会の男子の結果は、優勝は2年連続奈良県、2位愛媛県、3位宮崎県だった。目標であった、総合優勝は成りませんでした。次回の天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会に向け、しっかり取り組み、素晴らしい活躍を期待したい。



長江選手 金メダル3つ獲得！！

10月10日(木)から14日(月)に第6回東アジア競技大会ソフトテニス競技が、中国の天津で開催された。NTT西日本広島から男子の長江光一が3種別に出場した。

【結果】

シングルス：金メダル(男子日本人初)。ミックスダブルス：金メダル(ペア：小林〈早稲田大学〉)。

国別対抗戦：金メダル(2年連続)

長江選手は、出場した3種目全て、金メダルであった。